



校長つうしん No.16



2017.3.3

鈴木 恵一

大通高生だもの

3月1日、3年次生・4年次生の244名が卒業しました。大通高校でがんばり抜いた生徒だもの、きっとこれからも、いろいろな困難を乗り越えていくことでしょう。

式辞で以下のような話をしました。在校生のあなたにも伝えます。



- ◆私たちは厳しい北海道の冬を知っているからこそ、春の優しさ、穏やかさに希望を感じることができるのでしょうか。人生にも厳しさと優しさを感じる場面がたくさんあります。「置かれた場所で咲く」という心持ちは大切ですが、時間の使い方、命の使い方は人それぞれ。どう生かすかはあなた次第。希望を持って自立的に未来を切り拓いてください。
- ◆自分の存在価値や他者との関わりのなかで生きる自分をどう意味づけていくが、人生は考えることの連続です。他者と“こころ”を寄せ合うためにどうしたらよいのでしょうか。人間関係のあり方は実に多様です。さまざまな体験を積んで、よりよい人間関係のあり方を求め続けてください。
- ◆経験は宝であり力となります。しかし、それは特定の考え方を持つことにもなり、場合によっては自分の考え方の「癖」になる可能性もあります。より柔軟に思考するためには、時として自分のものの見方、考え方に癖や偏りがないか自問自答してください。
- ◆生物多様性、多文化共生、社会包摂を標榜し進化し続けている大通高校です。すべての人が社会の構成員であり互いに手を携えて共存していかなければなりません。どうか、大通高校での学びを忘れないでください。

◆子どもの頃に読んだ童話『銀河鉄道の夜』(宮澤賢治^{みやざわけんじ})、大人になったいまも読み返すことがあります。

主人公のジョバンニは“ほんとうの幸^{さいわい}(しあわせ)”とは何だろうと悩み、ほんとうの幸を実現したいと考えました。

「けれども、ほんとうの幸^{さいわ}は一体なんだろう……」
人生にはさまざまな喜びや悲しみがあり、そうした経験を通じて幸せに近づけるのでしょうか。温もりのある春の優しさをほんとうに「優しい」と感じられるのは厳しい冬の経験あってこそ。

あなたにとっての幸せは、あなたの心が決めます。

世界にたったひとつしかないあなたの人生。

あなたならではの物語を紡ぎ続けてください。

いろいろなことがあったよね。きついなって思ったこともあったよね。

「大通高校へ行こう!」と勇気を持ったあのときを思い出してごらん。

君にとって、大通高校は安心できる居場所だったろうか。安心して挫折できる場所だったろうか。もう、すっかり強くなったよね。

だって、大通高生だもの。これから羽ばたくけど、疲れたときは、ふらっと立ち寄ってくれ

